

## 事後評価調査書

I 事業概要						
事業名	交通安全施設等整備事業（歩道設置）					
地区名	主要地方道 岡崎半田線					
事業箇所	岡崎市北本郷町地内					
事業のあらまし	当該歩道設置箇所は、岡崎市と半田市とを結ぶ幹線道路で、国道1号を起点とし、安城市、碧南市を經由し衣浦大橋に至るため、通勤時には交通量が非常に多い。当該箇所は近隣には、公民館、JA岡崎市本郷支店、コンビニエンスストア等があり、周辺住民の生活には欠かせない道路ではあるが、当該区間のみ路肩もほとんどなく、歩行者や自転車利用者にとって非常に危険な状態にある。そのため、早急に歩道整備を行い事故防止を図るものである。					
事業目標	<b>【達成（主要）目標】</b> 交通量の多い道路に歩行空間を整備し、歩行者および自転車通行の安全性と快適性の向上を図る（交通死傷事故の削減） <b>【副次目標】</b> なし					
事業費	事業費		内訳			
	0.47億円		■工事費 0.37億円、■用補費 0.05億円、■その他 0.05億円			
事業期間	採択年度	平成20年度	着工年度	平成20年度	完成年度	平成22年度
事業内容	自転車歩行者道設置工事 延長 L=90m W=2.5m（歩道部）					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<b>【達成状況】</b> 歩道を整備したことにより、歩行空間が確保され、歩行者・自転車交通の安全性と快適性が向上した。 <b>【達成状況に対する評価】</b> ① 工事実施前（H14～H18）と事業実施後（H23～H25）の交通事故の発生状況を比較すると、「年平均死傷事故件数」は、1.4件から0.3件へと減少した。このことから、交通死傷事故の削減について当初の目的を達成していると考えられる。 ② 歩道が整備され、物理的に歩車分離が図られており、歩行者の通行の安全性・快適性が向上した。				
	2) 副次目標の達成状況	<b>【達成状況】</b> — <b>【達成状況に対する評価】</b> —				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	初期の事業目標を達成し、事故件数が削減しており、安心・安全な自転車歩行者道が整備されていることから今後の事後評価の必要はない。					
改善措置の必要性	上記のとおり、初期の事業目標を達成しているため、改善措置の必要はない。					

同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法で施工されているため、同種事業に反映すべき事項は特にない。
--------------	--